

トレーニング開催概要

日程

2017年9月16日(土)～18日(月・祝日)

2017年9月16日 9:00 受付開始

2017年9月18日 16:00 終了

※プログラムの開始は9:30です。

参加費

80,000円

※AoH Fukushima 2014、Nagatoro 2015、Tokyo 2016、Ayabe 2017
参加割

宿泊費

5人洋室 19,000円
シングル 25,000円(キャンセル待ち)

※滞在費には以下のものが含まれます。

9月16日昼食～9月18日昼食の2泊7食

※希望者は前泊も可能です。

会場

BumB東京スポーツ文化館

<http://www.ys-tokyobay.co.jp/>

〒136-0081 東京都江東区夢の島2-1-3

『新木場駅』下車、徒歩13分

申し込み

<http://www.artofhosting.jp/2017.html>

詳しくは

お問い合わせ info@artofhosting.jp

公式サイト <http://www.artofhosting.jp/>

Art of Hosting

AND HARVESTING CONVERSATIONS THAT MATTER

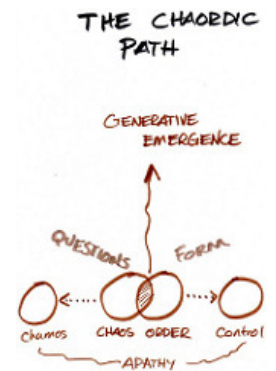
変化のために大切なことのために対話をするというのは、とどのつまり不確実を相手に仕事をするということである。そのためArt of Hostingは、この先も続く不確実な未来と上手に付き合っていくための長い学びの入り口と捉えることができます。三日間のトレーニングでは学びきれないほど、実際の組織や社会の複雑さと不確実さが包含された構造があります。急に対話の達人になれないように、一度のトレーニングで熟達することはできませんが、実践を深め拓げていく途上に立っている自分を確実に発見することでしょう。

Art of Hostingに参加することは、変化に向き合い活動する世界中の実践者たちのコミュニティの仲間入りをするということでもあります。学びと実践を続けていくために、近くに住む体験者となつがることもできますし、海外の仲間から学ぶこともできます。

<http://www.artofhosting.org/>

主催：Dialogic OD 実践会

共催：(株)オーグス総研 ビジネスイノベーションセンター・(株)Dialogic Consulting、あした業経営労務研究所



～不確実な未来を共に歩む組織となるために～

わたしが大切にしたい「働く」と、
わたし達が大切にしたい「共に働く」とは何ですか？



Art of Hosting Tokyo 2017

2017年9月16日～9月18日

対話型組織開発に必要な理論とスキルとマインドセットを実践的に学ぶ3日間の合宿です。個人の想いを起点に、現実の組織で起こりえる混沌をぬけ、組織のダイナミックな変革にスケールアップするプロセスを体験します。

申し込み：

<http://www.artofhosting.jp/2017.html>

「わたしにとって働くとは？」
「わたしたちが、共に働くとは？」

「なぜ組織は、外からの変化に適応するようにならなければならないのか？」
「なぜ組織では、内発的に課題を意味付けすることが起きにくいのか？」

「誰もが無理なく自分の力と価値を最大限に発揮できるような組織となるには？」
「組織レベルの変化がみずから起き持続するような風土は、どうすれば生まれるのか？」



そんな問いを抱いたことがあるならば、
複雑性・不確実性に向き合いながらも創発する組織づくりが、あなたに求められているのかもしれない。
あるいは、個人の変容が組織全体の变容へとつながる手立てを、あなたが学ぶ必要があるのかもしれない。

テーマは「働き方改革」

「働き方改革」をテーマとするArt of Hosting Tokyo 2017では、3日間の合宿を通じて、様々な立場で「働く」に関わる人たちで集い、対話し、現実の組織で起こりえるカオスの縁を歩みながら、望む未来を生成するプロセスを体験します。

それは、社会構成主義と複雑系科学を基にした「対話型組織開発」の理論とマインドセット、また、いくつもの組織の意義の生成と自己組織化を実現してきたArt of Hostingのスキルの体験の学びの場です。この体験は、皆さんが実現したい未来を共に働く仲間たちと実現するための一歩と、それを後押しする心強い味方となってくれることでしょう。

わたしが大切にしたい「働く」と、わたしたちが大切にしたい「共に働く」とは何ですか？

Art of Hostingのトレーニングは、思考と感情が揺れ動く力強い問いを中心に置き、対話を続けていきます。その過程で、私たちが無意識に持つ当たり前、恐れ、不安、諦めを見つけ、それを対話するみんなと共に乗り越えていきます。同時に、私たちが本当に願っている希望や未来のタネを見つけ、新たな「望む未来の物語」を紡いでいきます。これは、対話を通じ複雑性・不確実性に向き合っていくことで、組織に関わる人たちが持っている囚われたものの見方や考え方が変わる対話型組織開発のプロセスです。

今まで語られてなかったことが深く語られ出し、語っていなかった人々が想いを持って語り出し、カオスと秩序のきわをゆらぎ通りながら、生成的なイメージが紡がれ、創発的に組織が自己変革していく流れが生まれていきます。そして、私たちが囚われていた当たり前の「物語」が、私たち自身の未来の「物語」へと生まれ変わっていくのです。



お誘い

日々働くを実践している方。
それを支え合い、見守る家族。
組織で働くを応援する人事や組織開発の実務者。
社員の働き方を社員みんなと考えたい経営者。

「働く」ことについて考えてみたい話してみたい方、また、今の組織をより良くしたいと願い実践してみたい方、すでに想いを持って実践している方、どなたでも歓迎です。

みなさんが、ここでの体験と学びを活かし、ご自身の組織を「参加型リーダーシップの発揮される学習するコミュニティ」に育てていくこと、またその支援をしていくことを私たちは願っています。

皆さんが実現したい未来を、共に働く仲間たちと実現するために必要な一歩を、共に見つけることがとても楽しみです。働き方を改革するとき、またより良い組織づくり実践するとき使える、理論とスキルとマインドセットを一緒に手に入れてみましょう。

トレーニング・プログラム（仮）

以下のプログラムは過去のトレーニングを元に、仮に作成したものです。トレーニングのプログラムは当日もしくは前日の夜に発表になりますが、トレーニングの最中であっても状況に応じてその場で変更することがあります。複雑な問題に取り組む対話型組織開発には、いつでもどこでも通用する完璧な最善策はなく、実際の場の状況に応じて、プログラムや取り組みが変更されることが多くあります。

